



佐藤理絵 監修

探究活動・課題研究 のために

目 次

探究活動・課題研究入門	1	情 報	168
中高生向け	2	技術・家庭	171
スタディスキル（大学初年度）	19	技 術	171
教員向け	25	家 庭	175
課題を設定する	33	情報の整理と分析	181
テーマを見つける	34	情報の整理と分析	182
ニュースを知ろう	36	論理的に読む	191
考える力を育てる	46	グラフ・統計	195
情報を集める	61	まとめ・表現	209
情報を集める	62	まとめ・表現	210
図書館の使い方	66	レポート・論文を書く	217
インターネットの使い方	77	プレゼンテーション	227
博物館・美術館へ行く	81	ディベート・ディスカッション	230
実験・観察	87	著作権	232
フィールドワーク	96	索引	239
教科別参考図書	105	書名索引	240
総 記	106	キーワード索引	249
国 語	107		
数 学	113		
理 科	117		
物 理	120		
化 学	121		
生 物	123		
地 学	127		
社会・地理歴史・公民	130		
地 理	130		
歴 史	137		
公 民	141		
外国語	146		
英 語	148		
その他の言語	151		
芸 術	152		
音 楽	152		
美 術	158		
保健体育	162		

探究活動・課題研究入門

これから課題研究に取り組もうという人は、単なる調べ学習とは一線を画すことを、最初に理解する必要があります。内容はカブトムシの観察や工作、工場見学だけにとどまりません。課題研究とは過去の研究業績に学び、自ら設定した課題に問いを立て、客観的なデータを基に様々な研究手法を用いて、新しい未来を創造していくことです。

中学生向け

『リベラルアーツの学び—理系的思考のすすめ』

芳沢光雄著

内容 古代ギリシア・ローマ時代にその起源をもつ「自由七科」を基礎とするリベラルアーツ。広範な諸問題について、垣根を越えた複合的視点からまとめ解決を目指す教育はいかにあるべきか。長年にわたりリベラルアーツ教育に携わってきた著者が、具体的な事例を紹介しながら、論理的に考え幅広い視野を養う学びのあり方を語る。

目次 1章 リベラルアーツ教育、2章「学問基礎」の授業—リベラルアーツの授業実践から（数とは何か—数字の性質を知る、あみだくじ—偶数と奇数の意義を知る、昔の玩具で遊ぼう—2次元と3次元の違いを知る、結論だけでなく言葉の定義にも目を向けよう、くじ引きとじゃんけん大会—日常生活のなかの確率と期待値、人間の癖と自然の癖）、3章 リベラルアーツを念頭に置いたゼミナール（発見的問題解決法—リベラルアーツ的思考を深める13の方法、「例えば」の用法—言葉を正しく使って論理的に説明する、マークシート式問題と記述式問題）、4章 深い視点と広い視点をもつこと—教育問題2つの提言（「すべて(all)」と「ある(some)」などの論理的な言葉の学び、3桁同士の掛け算を学ぶ意義）

岩波書店 2018.4 206p 18cm (岩波ジュニア新書) 860円 ①978-4-00-500871-1 ⑨002

『質問する、問い返す—主体的に学ぶということ』

名古屋隆彦著

内容 各地の学校でアクティブ・ラーニングが積極的に導入されるなど、教育現場では「主体的・対話的な学び」のあり方に注目が集まっている。自ら問いを立て能動的に学ぶためには何が必要なのか。多くの学校現場を歩いてきた経験をもとに、主体的に学ぶことの意味を探る。

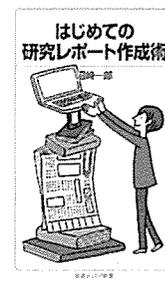
目次 第1章 記者の仕事がなくなる？、第2章「正解主義」を超えて、第3章 何のために学ぶのか、第4章 主体的な学びって何？、第5章 未知なるものに会いに

行こう、第6章「考え続ける」に意味がある、第7章 哲学する、世界が変わる、第8章 そしてまた問い返す

岩波書店 2017.5 211p 18cm (岩波ジュニア新書) 860円 ①978-4-00-500854-4 ⑨002

『はじめての研究レポート作成術』

沼崎一郎著



内容 「研究ってどうやるの?」「資料の探し方は?」「レポートの書き方にルールはあるの?」…。初めて自分で何かを調べてレポートにまとめる人のために、図書館とインターネットを使って入手できる資料を用いた研究レポート作成術を懇切丁寧に解説。研究への取り組み方から、コピー不要の文章の組み立て方の技術まで網羅した一冊。

目次 第1章 研究をはじめる前に（研究するとは、何をすることか?、どこまでも事実に基づいて研究するために、どこまでも誠実に研究するために）、第2章 研究を進める（研究の流れ、小さなトピックを見つける、大きなテーマを見つける、問いを立て、答えを見とす、事実が書かれた資料を探す、資料のなかからデータを集める、データに事実を語らせる）、第3章 研究レポートを書く（どこまでも誠実に書くために、どこまでも論理的に書くために、研究レポートの組み立て方を知る、序論を書く、本論を書く、結論を書く、形式を整え、提出する）

岩波書店 2018.1 242p 18cm (岩波ジュニア新書) 900円 ①978-4-00-500865-0 ⑨002.7

『はじめよう!アクティブ・ラーニング1自分で課題を見つけよう』

白石範孝監修

内容 1課題を見つけて解決しよう!（「ハテナ?」を「なるほど!」に変えよう!、将来、役に立つアクティブ・ラーニング、課題から解決までの6つのステップ）、2課題を決めよう!（何を調べるのかを自分たちで決めよう!、疑問から課題を見つけよう!、7つのレベルをくわしく見てみよう!）、3情報を集めよう!（課題にあった調べ方がある、調べて集めた情報はホントかな?、情報リテラシーを身につけよう!、集めた情報を整理しよう!）、4まとめて発表しよう!（集めた情報にあったまとめ方を考えよう!、発表するときの3つのポイントをおさえよう!）

ポプラ社 2016.4 47p 29×22cm 2900円 ①978-4-591-14859-4 ⑨002.7

続刊

- ② 図書館に行って調べよう! 青木伸生監修 2016.4
- ③ 現地取材で情報を集めよう! 二瓶弘行監修 2016.4
- ④ メディアを使って調べよう! 青山由紀監修 2016.4
- ⑤ 情報をまとめて発表しよう! 桂聖監修 2016.4

『理科課題研究ガイドブック—どうやって進めるか、どうやってまとめるか』第3版

小泉治彦著

内容 このガイドブックの使い方, 第1部 課題研究を始める (1. 課題研究によって身につく力, 2. 研究テーマの決め方, 3. 他の活動との両立, 4. 個人研究とグループ研究, 5. 基礎学力と課題研究), 第2部 文献を調べる (1. 文献による先行研究の調査, 2. 書籍とインターネット, 3. 書籍・論文の検索), 第3部 研究計画を立てる (1. 研究計画の立て方, 2. 予備実験, 3. 実験のデザイン, 4. 仮説と検証, 5. 野外調査と野外活動), 第4部 研究を進める (1. 「定性的」と「定量的」, 2. 測定値と誤差, 3. 標本調査の原理 ほか), 第5部 成果を発表する (1. 研究を発表する, 2. ポスター発表の方法, 3. 口頭発表の方法), 第6部 成果をまとめる (1. レポート・論文の要素, 2. 「考察」で書くべきこと, 3. 理系の作文技術 ほか), おわりに: 課題研究の指導にあたられる先生方へ, 参考文献

(千葉) 千葉大学先進科学センター 2015.2 78p 30cm ㊞002.7

『学びの技—14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』

後藤芳文, 伊藤史織, 登本洋子著



内容 調べる、まとめる、書く、発表する。中学生から大人まで、学校や職場で使える技をまるごと紹介。

目次 0 目標設定の技, 1 論題設定の技, 2 情報収集の技, 3 情報整理の技, 4 論理的に考える技, 5 発表の技, 6 論文の技

(町田) 玉川大学出版部 2014.11 145p 21cm (A5)
(YOUNG ADULT ACADEMIC SERIES) 1600円
①978-4-472-40497-9 ㊞002.7

『「読む・書く・話す」を一瞬でモノにする技術』

齋藤孝著

内容 あなたの常識を引っ繰り返す情報の読み方、活かし方! 家庭で、会社で、学校で、誰にでも使える「いいことずくめ」の知的生活、25のアイデア。

目次 1章 選ぶ力をつける5つの手法 (出会った瞬間に勝負する, 収集に「ムダな」エネルギーを使わない ほか), 2章 本をとことん使う7つの手法 (読書は「錬金術」である, 本をどんどん読むコツ ほか), 3章 記憶を深める5つの手法 (「自分の言葉」で再生してみる, 幅広く、深く見る ほか), 4章 道具を使いこなす5つの手法 (三つの色分けで情報をつかむ, 手帳は「三〇分刻み」のものを使う ほか), 5章 編集力をつける3つの手法 (自分の経験とからみ合わせる, ヒット企画は編集から生み出される ほか)

大和書房 2013.9 223p 15cm (A6) (だいわ文庫) 650円 ①978-4-479-30450-0 ㊞002.7

『問題解決スキルノート—5ステップで情報整理!』

桑田てるみ著

内容 困った時にすぐに役立つ、書き込み式ノート。問題解決のステップごとに、知っておくべき必須のスキルを厳選し、ワークシート形式で身につけられるように構成。頭の中で考えるだけでなく、思考を行動に変える、思考を可視化することを目的としている。

目次 1 アイデアをふくらます (テーマの全体像をつかむ!, 知識を出しつくす! ほか), 2 テーマをしぼる (テーマを焦点化する!, ピントを合わせる! ほか), 3 リサーチ&セレクト (テーマを深めて情報収集!, メディアを見極める! ほか), 4 情報を分析する (情報をモノにする!, 分ければ見える! ほか), 5 説得する (まとめて表現する!, 論理を組み立てる! ほか)

明治書院 2011.8 143p 21cm (A5) 1200円 ①978-4-625-68609-2 ㊞002.7

『問いをつくるスパイラル—考えることから探究学習をはじめよう!』

日本図書館協会図書館利用教育委員会図書館利用教育ハンドブック学校図書館 (高等学校) 版作業部会編著

内容 探究学習において重要なのは、生徒自身が自らの興味や疑問に基づいて「問いをつくる」ことである。そのことに焦点を当ててそのためのワークとワークシートを中心に構成し、高校生や大学初年次の学生向けに作られた。教師や図書館員にとっては、生徒たちに適切なタイミングで効果的なアドバイスを与えるために有用である。

日本図書館協会 2011.7 123p 26cm 1000円 ①978-4-8204-1104-8 ㊞002.7

『調べ学習の基礎の基礎—だれでもできる赤木かん子の魔法の図書館学』改訂版

赤木かん子著

内容 本や図書館や調べかた…は、「図書館学」という学問なんだけど、これがわかると、調べものは、簡単で! 楽しく! だれにでも! できるようになるんだよ。調べかたの一つ一つは難しくないんだけど、目で読むと難しいと思うときもあるかもしれない。そういうときは、だれかに声に出して読んでもらって! そうすると、不思議なことにわかるようになるんだ。この本を、最後までクリアできたら…、きみは「調べもの名人」だ。

目次 1 本のしくみ (本が生まれるまでを見てみよう, 目次ってなあに? ほか), 2 百科事典 (百科事典ってなあに?, 百科事典の引きかた ほか), 3 調べかた (調べて報告するってどうしたらいいの?, 謎を決めるにはどうしたらいいの? ほか), 4 図書館のしくみ (図書館では本をどうやって分類してるの?, レファレンス・ツール コンピュータ ほか), 5 レポートの書きかた (著作権というものがある)

監修者紹介

佐藤 理絵 (さとう・りえ)

茨城キリスト教学園中学校高等学校教諭。中高図書館部長、課題研究推進委員長、図書委員会顧問。高等学校にて、課題研究の教科担任。監修図書に「中高生のためのブックガイド 進路・将来を考える」がある。

資格：司書教諭（国語科）・図書館司書・JPIC 読書アドバイザー

所属：茨城県高等学校教育研究会図書館部・

学校図書館問題研究会・日本図書館協会

茨城キリスト教学園中学校高等学校HP <https://www.icc.ac.jp/ich/>

中高生のためのブックガイド 探究活動・課題研究のために

2019年6月25日 第1刷発行

監 修／佐藤理絵

発 行 者／大高利夫

発 行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

発 売 元／株式会社紀伊國屋書店

〒163-8636 東京都新宿区新宿3-17-7

電話 (03)3354-0131 (代表)

ホールセール部 (営業) 電話 (03)6910-0519

組版処理／有限会社デジタル工房

印刷・製本／株式会社平河工業社

不許複製・禁無断転載

〈中性紙・三菱書籍用紙イエロー使用〉

〈落丁・乱丁本はお取り替えいたします〉

ISBN978-4-8169-2777-5

Printed in Japan, 2019

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。